

3-9

豊齢化社会にむけて地域と共に生きる

施設入居者における外出支援のあり方

外出支援

個別ケア

特別養護老人ホーム 足立翔裕園

生活相談員 山下 博江

東京都足立区入谷 9 丁目 15 番 18 号

TEL : 03-3855-6363

E-mail : info@chojumura.or.jp

FAX : 03-3855-6360

URL : <http://www.chojumura.or.jp>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

社会福祉法人長寿村が経営する足立翔裕園は平成 9 年 4 月に開設。150 床の特養、20 床のショートステイ、認知症デイサービス、足立区地域包括支援センター、居宅介護支援事業所を併設している。

〈取り組んだ課題〉

- 施設に入所をすれば外出の機会が減り、施設の規則に従い生活することになる
- 入居者が地域へ参加していくためにも、施設が障害となっていけない
- 施設利用者の生活の質・生活意欲の向上

〈具体的な取り組み〉

- 施設が企画し、希望者を募り実施する外出。もう一つは入居者から希望・依頼をもとに外出
- 入居者の生活暦・趣味などを施設起案に反映
- 個々の予算に見合った外出・旅行を計画し実施
 - ・ 施設起案・温泉、浅草散策、バレーボール観戦
 - ・ 個人外出・野球観戦、買物、居酒屋、外食等
- 温泉旅行の実施
 - ・ 電車（新幹線、踊り子号）などの公共交通機関の利用
 - ・ 安全でゆとりのある旅行を楽しんで頂く
 - ・ 実績・那須塩原温泉、熱海温泉（箱根、山中湖）
 - ・ 費用は入居者自身の費用は自己負担、付添い職員に関しては、施設からの経費と介護費用として一部を入居者に負担して頂く
- 家族にも働きかけ、少数ではあるが参加して頂いている。

〈活動の成果と評価〉

- 外出や旅行など社会（地域）へ参加することで生活意欲が高まり社会性・自己決定等の能力が向上することが出来た
- 家族が一緒に参加した外出、旅行では今まで見えなかった入居者の一面に気づくことができた
- ・ 家族との信頼関係が構築された

〈今後の課題〉

- 入居者の状態（ADL・認知症の程度など）によって外出の頻度に格差が生じる
- 多くの入居者には喜ばれるが、外出が困難な重度の入居者は取り残されてしまう
- 金銭的な面で無理な人など参加できない人がでてる
- 旅行
 - ・ 個々の予算と状態に合った範囲でも満足度の高い内容にしていく必要がある